

生物リスト

鳥類ラインセンサス調査での出現種(2004年4月-2005年3月)

数値は月ごとの平均個体数.

種名	4月	5月	6月	10月	1月	2月	3月
1 アオゲラ	2.0	2.0		1.5	2.5	2.0	1.5
2 アオジ	6.0				10.5	11.5	8.0
3 アカハラ	1.0				2.0		1.0
4 イカル					7.0	41.0	
5 ウグイス	24.0	31.0	35.5	6.5	14.0	11.5	22.5
6 ウソ	1.0					1.0	
7 エゾビタキ				1.0			
8 エナガ	5.5	12.0	3.0	5.0		6.0	4.0
9 オオタカ		1.0					
10 オオルリ	2.5	1.0	4.0				
11 カルガモ							2.0
12 カワウ				1.0			
13 カワセミ	2.5	1.0				1.0	1.0
14 カワラヒワ		3.0	2.0	10.0	1.0	3.0	1.0
15 キジ		1.0					
16 キジバト	12.0	2.0	1.0	6.0	1.0	3.0	5.0
17 キセキレイ			1.0	2.0			
18 キビタキ		2.0	1.0	1.0			
19 クロジ					3.0	7.0	3.0
20 コゲラ	5.0	6.0	3.0	5.5	5.0	5.0	6.5
21 コサギ				1.0			
22 コジュケイ	4.5	4.0	1.5	4.0	1.0	5.5	6.5
23 シジュウカラ	9.0	19.5	12.5	17.0	3.0	3.0	8.5
24 シメ	6.5				6.0	5.5	12.0
25 シロハラ	1.0				2.5	1.0	2.5
26 スズメ	2.0	14.5	27.5	1.0		1.0	2.0
27 センダイムシクイ	1.0	2.0					
28 ツグミ	4.0				2.5	1.0	1.0
29 ツバメ	1.0	1.0	3.0				
30 トビ	1.0	1.0		1.0		1.0	
31 ノスリ					1.0	1.0	
32 ハイタカ					1.0	1.0	
33 ハクセキレイ	1.0			1.0			
34 ハシブトガラス	6.5	5.5	4.5	5.5	4.0	3.5	8.0
35 ハシボソガラス	2.0			1.0		1.0	2.0
36 ヒメアマツバメ						1.0	
37 ヒヨドリ	13.0	15.0	19.0	94.0	62.5	12.5	11.5
38 ホオジロ	3.0	2.5	5.0	2.0		2.0	3.5
39 ホトトギス		3.0	1.0				
40 マヒワ	2.0						
41 ミソサザイ							1.0
42 ムクドリ						1.0	
43 メジロ	23.5	40.5	71.0	65.5	38.5	18.5	23.5
44 モズ				4.5	1.0		1.0
45 ヤブサメ		1.0					
46 ヤマガラ	1.0	3.5	1.0	4.0	1.0	1.0	4.0
47 ルリビタキ				1.0	1.0		
小計	143.5	175.0	196.5	242.0	171.0	152.5	142.5
アオジ?	2.0	1.0			1.0	1.5	1.0
大型ツグミsp.	1.0				3.5	3.5	1.5
クロジ?					2.0	1.0	
ジョウビタキ?						1.0	
ホオジロ?					1.0		
合計	146.5	176.0	196.5	242.0	178.5	159.5	145.0

月別園内鳥類出現率

(2004年4月~2005年3月)

No	科名	種名	出現率(%)												
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1	ウ	カワウ							3.6				8.7	4.2	
2	サギ	コサギ						4.0	7.1				4.3		
3		アオサギ			7.7				3.6						
4	ガンカモ	オシドリ												4.2	
5		カルガモ		3.6										4.2	17.2
6	ワシタカ	ミサゴ						4.0		4.3					
7		トビ	75.9	50.0	42.3	75.0	57.7	48.0	64.3	65.2	56.5	91.3	83.3	79.3	
8		オオタカ		7.1				4.0	10.7	4.3	8.7	4.3	4.2		
9		ツミ									4.3		8.3		
10		ハイタカ								8.7			8.7	8.3	3.4
11		ノスリ								13.0	8.7	34.8	33.3	13.8	
12		サシバ						4.0							
13	ハヤブサ	チョウゲンボウ												4.2	
14	キジ	コジュケイ	89.7	71.4	69.2	71.4	38.5	32.0	50.0	60.9	47.8	52.2	45.8	72.4	
15		キジ	82.8	57.1	23.1	25.0	15.4	40.0	3.6	8.7			4.2	6.9	
16	シギ	ヤマシギ												3.4	
17	ハト	キジバト	82.8	64.3	50.0	71.4	61.5	40.0	50.0	69.6	52.2	52.2	75.0	93.1	
18	ホトトギス	ホトトギス		53.6	73.1	71.4	7.7								
19	フクロウ	フクロウ	6.9	21.4	11.5							4.3	4.3	4.2	6.9
20	アマツバメ	ヒメアマツバメ	3.4	17.9	34.6	17.9	7.7		10.7	8.7	13.0	4.3	4.2		
21		アマツバメ			7.7				3.6	4.3					
22	カワセミ	カワセミ	55.2	32.1	19.2	32.1	23.1	4.0	3.6	13.0		13.0	25.0	31.0	
23	キツツキ	アオゲラ	48.3	25.0	46.2	42.9	3.8		35.7	43.5	26.1	43.5	37.5	41.4	
24		コゲラ	82.8	64.3	69.2	50.0	19.2	40.0	50.0	52.2	47.8	69.6	70.8	82.8	
25	ツバメ	ツバメ	27.6	50.0	38.5	53.6	23.1	12.0							
26		イワツバメ			11.5	7.1	3.8								
27	セキレイ	キセキレイ	24.1	14.3	19.2				10.7			39.1	12.5	6.9	
28		ハクセキレイ	6.9	7.1				4.0	10.7	26.1	17.4	8.7	4.2	3.4	
29		ビンズイ	3.4										4.2		
30	サンショウクイ	サンショウクイ							3.6						
31	ヒヨドリ	ヒヨドリ	86.2	71.4	61.5	75.0	15.4	52.0	85.7	100.0	100.0	100.0	91.7	93.1	
32	モズ	モズ	3.4					4.0	46.4	47.8	47.8	39.1	45.8	27.6	
33	ミンサザイ	ミンサザイ												3.4	
34	イワヒバリ	カヤクグリ							3.6						
35	ヒタキ	コマドリ	3.4												
36		ルリビタキ							7.1		8.7	39.1	33.3	17.2	
37		ジョウビタキ	3.4						3.6	52.2	34.8	34.8	12.5	6.9	
38		トラツグミ										8.7	4.2	13.8	
39		クロツグミ											4.2		
40		アカハラ	20.7					4.0		8.7	21.7	39.1	29.2	20.7	
41		シロハラ	20.7							8.7	34.8	78.3	75.0	75.9	
42		マミチャジナイ							10.7	8.7					
43		ツグミ	34.5							8.7	26.1	47.8	70.8	82.8	
44		ヤブサメ	10.3	39.3	42.3	7.1									
45		ウグイス	96.6	92.9	92.3	96.4	34.6	12.0	35.7	73.9	73.9	78.3	70.8	93.1	
46		エゾムシクイ	3.4	3.6											
47		センダイムシクイ	24.1	50.0	3.8										
48		キビタキ		39.3	19.2			4.0	21.4						
49		オオルリ	31.0	60.7	38.5	14.3	3.8								
50		エソビタキ							7.1						
51		コサメビタキ							3.6						
52	エナガ	エナガ	65.5	42.9	23.1		3.8	4.0	21.4	34.8	52.2	26.1	45.8	51.7	
53	シジュウカラ	ヤマガラ	93.1	82.1	23.1	7.1	3.8	32.0	35.7	39.1		52.2	37.5	65.5	
54		シジュウカラ	96.6	89.3	80.8	67.9	30.8	64.0	78.6	87.0	73.9	95.7	91.7	93.1	
55	メジロ	メジロ	93.1	92.9	88.5	85.7	53.8	36.0	67.9	95.7	78.3	100.0	87.5	96.6	
56	ホオジロ	ホオジロ	58.6	32.1	53.8	57.1	42.3	12.0	28.6	52.2	65.2	69.6	75.0	86.2	
57		カシラダカ	3.4							8.7		4.3	4.2		
58		ミヤマホオジロ								4.3	4.3	4.3			
59		アオジ	41.4						7.1	73.9	82.6	95.7	83.3	89.7	
60		クロジ	3.4							8.7	21.7	47.8	45.8	41.4	

No	科名	種名	出現率(%)												
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
61	アトリ	カワラヒワ	20.7	10.7	26.9					21.4	34.8	30.4	47.8	50.0	27.6
62		マヒワ	48.3								4.3				
63		ベニマシコ									8.7			8.3	3.4
64		ウソ	17.2							7.1	8.7	8.7	4.3	54.2	20.7
65		コイカル												8.3	
66		イカル	3.4									4.3	26.1	20.8	17.2
67		シメ	41.4							7.1	13.0	30.4	47.8	50.0	31.0
68	ハタオリドリ	スズメ	89.7	92.9	96.2	92.9	88.5	88.0	67.9	95.7	95.7	87.0	87.5	96.6	
69	ムクドリ	ムクドリ	10.3		15.4	7.1			4.0	25.0	4.3	8.7		12.5	17.2
70	カラス	カケス								10.7	8.7	4.3			
71		オナガ						3.8							
72		ハシボソガラス	17.2	3.6		21.4	15.4	8.0	3.6		13.0	4.3	8.7	20.8	34.5
73		ハシブトガラス	75.9	78.6	69.2	71.4	84.6	92.0	67.9	56.5	95.7	95.7	83.3	100.0	
	*ハト	ドバト								3.6					
	サギ	サギsp.						7.7							
	ワシタカ	ハイタカsp.				3.6									
	シギ	ヤマシギ?									4.3				
	カモメ	カモメsp.													3.4
	ホトギス	ホトギス?						4.0	3.6						
	アマツバメ	アマツバメsp.									4.3	4.3			
	ツバメ	ツバメsp.		3.6											
	セキレイ	セキレイsp.					3.8				4.3				
	ヒタキ	ツグミsp.	3.4	3.6				4.0			13.0	8.7	52.2	29.2	3.4
		アカハラorシロハラ										13.0			
	ホオジロ	アオジorクロジ									4.3				

花暦 ・ 2004年

横浜自然観察の森友の会 野草プロジェクト：伊澤嘉與子・高原弘子・永藁和久・畑史子
八田文子・松田博明・山路智恵子・山本久子・横溝八千代・篠原由紀子（まとめ）

〈調査方法〉

毎月1日から10日の間に、篠原が園内全域を歩いて植物の状況を記録した。
野草プロジェクトの活動日にメンバーが記録したものを追加した。

〈凡例〉

つぼみ :△
花 :★
未熟な実 :○
熟した実 :●
むかご :む

△	△★	△ ○	★○●	△26
★	△★○	△ ●	△/★12	★22
○	△★○●	△ ○●	△16★22	△★20
●	○●	★○	△★16○22	△★○20

- ・ /の後は定例調査の日以外の記録

例 1. 一定例調査の日には蕾だったが12日には開花を記録した：△/★12

例 2. 一定例調査の日には記録されなかったが、26日にはつぼみを記録した：△26

- ・ 園内で観察できる場所が限られている植物は、種名の右()内に場所を記した

ア：アキアキの丘，オ：尾根道，カ：カシの森，ク：クヌギの林，ケ：ケツジの谷，コ：コナラの谷
ス：炭焼き場，セ：生態園，ノ：ノギクの広場，ハ：畑，ピ：ピクニック広場，ミ：水鳥の池

- ・ 種名の網掛けは生態園で観察できた種

種名	科名	4月3,4日	5月1,7日	6月2,3日	7月2日	8月3,4日	9月1日	10月6日	11月2日	12月1日	1月10日	2月6日	3月2日
イヌシウマ	キンポウゲ												
イヌセンブリ(ウ)	リンボウ					△	△★29	△★					
イヌタデ	タデ						△★25	△★	○	○			
イヌツバ 穂藪も	モ子ノキ		△17★25	△★○	○	○	△★25	○/●16	○	○			
イヌトウバナ	シソ					△★	△★○	○	○	○			
イヌビエ	イネ				△★○13		○	○	○	○			
イヌビロ	クワ	△21	△?	△?	★?	★?	★?	○?	○	○	●		
イヌムギ	イネ		△/○30		○8								
イボタノキ	モクセイ	△11	△★6	○	○	○	○	○	○	○	○		
イロハモミジ 穂藪も	カエデ	△/★7	○30	○	○	●							
ウグイスカグラ	スイカズラ	★	○/●12									△★24	△★
ウシノツバ	イネ				△/★20	★○							
ウシハコバ	ナナシヨ	△★14	△★○	△★○●	△★○●		△★25	△★	△★○	△★○●	△★○●		
ウスガチヨウジタデ	アカバナ						△★17	○					
ウツギ	ユキラン	△28	△★18	★○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
ウツクサ	シソ			△/★12	○								
ウド	ウコギ					△24	△★25						
ウバユリ	ユリ			△12	△10★20	○14	○19	○14	●13				
ウマノミツバ	セリ		△25	△★12	△★	★	○	○					
ウメ 穂藪	バラ	○	○	★	○	○	○14	○14	●13	●15	●19	●17	
ウメトキ 穂藪?	モ子ノキ												
ウラシマツウ	サトイモ	△★7					○15						
ウラボシ子コグサ	キク			○	○								
ウラボシ(ウ)	イラクサ	△/★19	△★	○16	○	○		●					△31
ウワミズグサ	ハラ	△12★16	○17	○16	○	○							
ウリユウヤナギ 穂藪(ヤナギ)	ウリユウヤナギ	★											
エゴノキ	エゴノキ		△★12	○10	○	○	○19	○14	○13	○15	○19		
エソノギンギン	タデ			○29	○								
エナシヒヨクサ	カヤツリグサ												
エノキ	ニレ	△★6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
エノキグサ	トウダイグサ						△★4	○	○	○	○		
エノコグサ	イネ						△★○	○	○	○			
エビツル	フドウ				△/★22	△★/○10	△★○	○	○	○			
エビネ	ラン	△★17	△★	○12	○	○	○	○	○	○			
エンコウカエデ(偽ヤナギ)	カエデ	△★27	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
エンジュ	マメ					△★○22	△★○	○	○	○	○	○	○
オオアラセイトウ	アブラナ					△★	△★○	△★○●	△★○●	△★○●			△★26
オオアレチノギク	キク					△★	△★○	△★○●	△★○●	△★○●			
オオイヌノフグリ	オオハラノギク	△★○	△★○●			△★	△★○	△★○●	△★○●	△★○●			
オオオナモミ	キク			△?		△	△7★18	★○	○	○	○	○	△
オオクサキビ	イネ	△★19	△★										
オオシシバリ	キク	△★											
オオシマザクラ	バラ												
オオシキソウ	トウダイグサ	△12	△17★23	△★○	○	△★22	★○	★○	○	○	○	○	○
オオハナムケ	モクセイ			○16									
オオハナムケ	ウマノミツバ	△★27	△★	○	○	○	△★	△★○●	△★○●	△★○●	○	○	○
オオハナムケ	ユリ		△15	△/★10	○	○	△★	△★○●	△★○●	△★○●	○	○	○
オオハナムケ	アブラナ		△★○			○	○	○	○	○	○	○	○
オオハナムケ	アカネ					○	○	○	○	○	○	○	○
オオハナムケ	カハシキ	△/○21	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

茶 黒茶 赤 薄茶 黒 褐 赤 赤 褐色 緑 紫 薄茶 緑→黄 薄茶 赤 赤 薄茶 青 褐

熟した実の色

種名	科名	4月34日	5月17日	6月23日	7月2日	8月3,4日	9月1日	10月6日	11月2日	12月1日	1月10日	2月6日	3月2日
シヤガ 種栽	アヤメ	△★	★/○15										
シヤケツイハラ	マメ	△★29	★										
シヤノヒゲ	ユリ	△★14	△★	△17	△★7	○21	○	○	○●13	●			
シヤリンハイ 種栽	バラ	△/★14	△★	★○	○	○	○	○●	●	●			
シユウカイドウ	キク			30									
シユウブソウ	シユウブソウ						△★17	○14	○				
シユウブソウ	カヤツリグサ		△18	○									
シユウブソウ 種栽も	ラン												
シヨウブ	サトイモ		★										
シヨウブ	ユリ	△★20											
シヨウブ	ユリ												
シヨカシ 種栽も	フナ	○	△★	○	○	○	○	○	●				
シヨカシ 種栽も?	トウダイグサ	△21	△★8	○	○	○							
シヨラキ 種栽も?	イネ			△★	○●								
シヨラガヤ	カヤツリグサ		△★3										
シヨラスゲ	キク		△★	△★○	○	○	○	★○14	★○				
シヨラヤマキク	ラン	△17★28	△★					○	○	○	○	○	○
シヨラサ	アガサ							○	○	○	○	○	○
シヨラモ	クスノキ		○17	○	△○	△○	△○	○	△★				
シヨツメクサ 種栽も	マメ	△★24	△★○	△★○	△★○	★							
シヨバナオオバシヤヒ	ユリ		△15	△/★10									
シヨバナシラン	ラン		△★15										
シヨバナタンポポ 種栽も	キク	○											
シヨバナハンショウツル	キンポウゲ	△★7	★○15	★				○16	○	○	○	○	○
シヨヨメ	キク					△	△★	△★	△★	○●	○●	○●	○●
シントツポウユリ	ユリ		△★	△★		△5	○	○	○	○			
シイカズラ	スイカズラ		△★	△★									
スイバ	タデ	△/★19	△★	○	○								
スギ 種栽	スギ	○●9	○●	○●	○●	○●	○●	○●	○●	○●	○●	○●	○●
ススキ	イネ	△★			△13								
スズメノカタビラ	イネ	△★	△22	○									
スズメノヤビキ	イネ												
スズメノヒエ	イネ							○					
スズメノヤリ	イグサ	△★○	△★○●	●23									
スズラン	ユリ		△★○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スズシイ 種栽も	フナ	○	△★○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スハマソウ	キンポウゲ												
セイヨウアワダチソウ	キク												
セイヨウアブラナ	アブラナ												
セイヨウオオタマキ	キンポウゲ	△★18	★○										
セイヨウタンポポ	キク		★○●	★									
セキショウ 種栽	サトイモ	△											
セリ	セリ				△★17	△★○	△★	△★	△★○	○●	○●	○●	○●
セシニソウ	キンポウゲ	△★	○	●									
ソメイシロ 種栽も	バラ												
ソヨビ 種栽 園外	モリノキ		★22										
タイアザミ	キク			△★30	△★	△20	△/★19	△★○	△★○	★○●	★○●	●	●
タイロシソウ	バラ				△★	★○	★○	★○	★○	★○●	★○●	●	●
タカネマスカサ	カヤツリグサ				△★○	○		○	○	○	○	○	○
タケニグサ	ケシ				△★○	○		○	○	○	○	○	○
タコノアシ 種栽	ユキノシタ				★○7	△★20	△★○7	○	○	○	○	○	○
タシロラン	ラン												
タチイヌワダグサ	ヨモギ	△★○	△★○●										

赤紫 青黒 緑 茶褐 赤茶 薄茶 黒赤 緑 薄茶 褐 褐 茶 茶 茶 赤 茶 灰茶

熟した実の色

薄茶 黒 褐 黒赤 グレー 褐 黒 茶 紫→褐 黒 茶 黒赤 茶茶 桃

種名	科名	4月31日	5月17日	6月23日	7月2日	8月31日	9月1日	10月6日	11月2日	12月1日	1月10日	2月6日	3月2日
ヤブツツク	クク												
ウコギ	ウコギ	○●						△16	△★	○	○	○	○
ヤナギタテ	タテ		★○●				△★25	△★	△★12	△★○	○	○	○
ヤハスエンシドウ(幼実/エド)	マメ			●			△★		●	★○●			△★16
ヤハスツク	マメ						△★20	○	○				
ヤブツツク	スイカズラ		○30										
ヤブカサ	フトウ			△/★12	△★/○20		△★○●	○●	●				
ヤブコウジ	ヤブコウジ			△11★24	△★		○	○	●	●			
ヤブジラミ	セリ			△★15			△/★7	△★	△★○●	△★○●	●	●	●
ヤブタハコ	キク		○●30						△★○●	△★○●	●	●	●
ヤブタビラコ	キク		△★12						△★14	△★	△★	△★	△★
ヤブツツバキ	ツツバキ												
ヤブツルアズキ	マメ		△★				△★18	○●					
ヤブチマリ	スイカズラ		△12	○	○13								
ヤブニツケイ	クスノキ		△	△★10	○		○20	○14					
ヤブニシシ	セリ		△9★12	○									
ヤブヘビイチゴ	バラ		△★	●	○	★		○●	○●	●	●	●	△24
ヤブマオ	イラクサ			△29	△★	△★○	○	○	○●	○●	○●	○●	○●
ヤブマメ	マメ						△★	△★○	○●	○●	○●	○●	○●
ヤブミヨウガ	ツユクサ												
ヤブムラサキ	クマツツク		△/★23	△★			○	○	○●	○●	○●	○●	○●
ヤブラン	ユリ						△/★17	○	○●	○●	○●	○●	○●
ヤマアサヒ	ユキノシタ		△25	△/★10	△★	△★	○	○	○●	○●	○●	○●	○●
ヤマアワ	イネ			△★29	△★	○	○●	○	○	○	○	○	○
ヤマイ	カヤツリグサ			△13★24	△★	○	○●	○	○	○	○	○	○
ヤマウコギ	ウコギ		△12	○16									
ヤマエンゴサク	ケシ		★/○7										
ヤマカモジクサ	イネ		△★30	△★	★○●								
ヤマタワ	クワ		○●	○●	●								
ヤマコウバシ	クスノキ		△★12	○	○		○	○					
ヤマザクラ	バラ		△★	○●	○●								
ヤマツツク	ツツク												
ヤマニガナ	クク												
ヤマノイモ	ヤマノイモ												
ヤマハセ	マメ		△23	△★23	△★○●10	★●16	★●19	○●	○●	○●	○●	○●	○●
ヤマハセ 補裁も	ウルシ		△16	△★12	△13	△★/●20	△★	○●	○●	○●	○●	○●	○●
ヤマハタザオ	アブラナ			○	△★	○	○	○●	○●	○●	○●	○●	○●
ヤマハツカ	シロ				△★10			△★○14					
ヤマブキ 補裁も	バラ		△/★12	○	○	○	○	○	○●				
ヤマホウシ 補裁	ミズキ			★25	★								
ヤマホタルブクロ	キキョウ			△★9	△★○								
ヤマホトギス	ユリ												
ヤマミズ	イラクサ												
ヤマムクラ	アカハ		△★17	★○									
ヤマモモ 補裁	ヤマモモ		△★	○●									
ヤマユリ	ユリ		△	△★12	○	○	○	○	○		△17	△	△
ヤマラッキョウ	ユリ							△14					
ヤマレルソウ(コ)	ムラサキ		△★○7	○									△★15
ヤウラスガ	カヤツリグサ			★7	○●16								
ユキノシタ	ユキノシタ		△/★12	△★○	●								
ユキヤナギ 補裁	バラ		△★○	○●30									△★13
ユリ科園芸種(ASコヤ)	ユリ												
ヨシレネコノメ(コ)	ユキノシタ		△★			△★○	△★18						△15★31

熟した実の色

種名	科名	4月3,4日	5月1,7日	6月2,3日	7月2日	8月3,4日	9月1日	10月6日	11月2日	12月1日	1月10日	2月6日	3月2日
目玉芋													
リュウノボク	キク					△	△/★18	○	○	○	●	●	
リュウノボク	キク						△/★18	○	○	○	●	●	
リュウノボク 植栽(他)	リュウノボク	△9	△	△/★19	△★0	○	○	△/★29	△/★17	★○	●	●	●
リンボク	リンボク							△★29	△★	★	●	●	●
レモンエゴマ	シソ							△★0	●				
ワルナスビ	ナス			△/★12	△★	△★	△★18						
ワレモコウ	バラ						△★8	△★0	○			●	
ツクシ	その他												
イヌトクサ	トクサ	あり											あり25
オオハナワラビ	トクサ		あり23	あり	あり	あり	あり17	あり					
フユノハナワラビ	ハナワラビ						あり20						
ハナワラビ	ハナワラビ												

薄茶
黒?

・ ・ 投稿される方へ ・ ・ ・ ・ ・

横浜自然観察の森では、レンジャー、ボランティア、研究者、大学生など多くの人によって、各種の調査が行なわれています。そこで、日本野鳥の会レンジャーがこれらの結果を毎年調査報告書としてまとめ、調査活動、自然解説を行なう上での資料として活用できるようにしています。つきましては、下記の要領で調査の報告を提出して下さいませう、お願いいたします。

■ **調査報告書の目的** ■ 横浜自然観察の森で行われているすべての調査活動・調査項目・調査場所・調査者のリストアップと、調査により得られた情報の公開、共有。

■ **投稿内容** ■ 横浜自然観察の森または円海山緑地に関わる調査、および横浜自然観察の森のボランティアが行った調査（他の場所でもOK）の活動報告とその結果。生物や自然だけでなく、アンケート調査、自然解説の手法の効果測定なども対象とします。2004年度の調査だけでなく、過去の調査の報告でもかまいません。

■ **形式** ■ 「かんたんな報告」と「くわしい報告」の2種類あります。どちらか一方をお書き下さい。

■ **切** ■ 2006年3月15日 当日が調査期間中等にあたり、提出が難しい方は、ご連絡ください。

■ 投稿先・問い合わせ連絡先 ■

横浜自然観察の森 〒247-0013 横浜市栄区上郷町1562-1

TEL : 045-894-7474 FAX : 045-894-8892

E-mail: fujita.k@zb.wakwak.com 藤田まで（ご不明な点はお気軽に）

「かんたんな報告」の書き方

1. 次ページの書式に沿って、書ける項目だけ記入して下さい。
2. 「調査者」の欄には、必ず氏名を書き、氏名の後に（ ）で所属を書いて下さい。
例：藤田 薫（横浜自然観察の森友の会・ヤマガラ大好きプロジェクト）
調査者が複数の時には、全員の氏名を書いて下さい。
3. 図や表は「方法」や「結果」の欄に切り貼りしても、最後にまとめて添付されても構いません。
4. 原稿はプリントアウトしたものを送っていただくか、Excel形式で入力したものを添付ファイルでお送り下さい。
 - ・手書きの方は、紙が足りないときには、コピーして使ってください。
 - ・コンピューター等で自分で枠を作って打ち込む方は、A4縦置きで、上3cm、下4cm、左右2.5cmの余白をとってください。各項目の行数は、変更して構いません。

横浜自然観察の森調査報告11 (2005)

調査名	
調査者名(所属)	
調査場所	
調査日	
調査開始	年 ・ 次年度 継続 / 終了 ・ 終了予定 年
調査目的	
調査方法	

調査結果

引用した本・文献

「くわしい報告」の書き方

1. 提出方法について

Word形式で原稿を保存したフロッピーディスクを郵送、または、Word形式でメールでお送りください。

図は、A4サイズの用紙に書いて郵送、または、ExcelかWord形式でメールでお送り下さい。編集の手間を省くため、図は、本文の最後にまとめて載せさせていただきますので、ご了承下さい。

2. 全体について

報告は、できる限り短く書いて下さい。図や表もできるだけ少なくします。

表よりは図で表現する方がよいと言われています。図であれば、一目で理解できることも、表になると理解するのに時間がかかってしまうからです。

3. 構成について

(1) タイトル／ 調査の内容についてわかるようなタイトルをつけます。

(2) 著者名と著者の所属・連絡先住所／

(3) はじめに／ 観察や調査を行なった動機・目的を書きます。同じテーマで、過去に行われた調査では、どこまで明らかになっているかなども、ここに書きます。

(4) 調査地と調査方法／ 調査地について簡潔に書きます。調査地の環境については、報告のテーマに関係ないときには簡潔に、テーマに関係あるときにはくわしく書きます。

調査期間として、何年の何月から何月まで観察したかを書き、合計観察時間や日数も入れます。

調査方法としては、どのように調査したかを、他の人が、同じ方法で繰り返し同じ調査ができる程度に詳しく書きます。

(5) 結果／ 自分の調査でわかったことを書きます。

(6) 考察／ 自分の結果から考えられる結論だけを書くようにします。自分の調査でどうしてそういう結果になったのかを、他の研究を引用しながら、考察したり、他の研究と結果を比較したりします。

(7) 謝辞／ 調査を手伝ってくださった方、調査計画をたてる時や論文を書く時に相談にのってくれた方や、助成金をもらっている場合は、どこからもらったのかを明記し、謝辞をのべます。

(8) 要約／ 短くまとめて論文内容全体の紹介をする場所です。

自分の調査の結果どんなことがわかったのかをできるだけわかりやすく、短くまとめます。

(9) 引用文献／ 報告の本文中で引用した文献を、すべて書きます。

雑誌の場合：著者名、発表年、論文表題、掲載雑誌名、巻号、ページ。

本の場合：著者名、発表年、表題、総ページ数、発行所、発行地。

横浜自然観察の森調査報告 10

2005年8月発行

編集・発行／日本野鳥の会サンクチュアリ室

〒150-0061 渋谷区初台1-47-1 小田急西新宿ビル1F

TEL 03-5358-3517 / FAX 03-5358-3608

(編集者：松田久司)

連絡先／横浜自然観察の森

〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1

TEL 045-894-7474 / FAX 045-894-8892

無断転載を禁じます

1. The first part of the document discusses the importance of maintaining accurate records of all transactions and activities. It emphasizes that this is essential for ensuring transparency and accountability in the organization's operations.

2. The second part of the document outlines the various methods and tools used to collect and analyze data. It highlights the need for consistent data collection procedures and the use of advanced analytical techniques to derive meaningful insights from the data.

3. The third part of the document focuses on the role of technology in data management and analysis. It discusses how modern software solutions can streamline data collection, storage, and processing, thereby improving efficiency and accuracy.

4. The fourth part of the document addresses the challenges associated with data management, such as data quality, security, and privacy. It provides strategies to mitigate these risks and ensure that the data remains reliable and secure throughout its lifecycle.

5. The fifth part of the document concludes by summarizing the key findings and recommendations. It stresses the importance of a data-driven approach in decision-making and the need for continuous monitoring and improvement of data management practices.